

# 2022年度「若者×ツナグバ」活動報告書

団体名:11=Jack

---

活動名:山口県の若者で盛り上げる福祉と介護。この世界に次の世代が夢を持って入れるように！

---

## ★ 団体紹介 (結成時期、構成メンバー、結成の目的、活動方針等)

### 11=Jack とは？

「11=Jack」の読み方は、「ジャック」と言います

### 名前の由来

11=Jack の名前の由来はトランプのジャック(数字の11)からきています。トランプのジャックは絵柄(ジャック・クイーン・キング)の中で最も階級の低い(若い)位置にいますが、「11」という数字には、未来を切り開く大きなエネルギーが宿っているといわれています！私たち若者でも大きなエネルギーを持っている！その力で山口県を盛り上げたい！そんな願いがこもっています！

### どんな団体？

私たちジャックは、山口県内で働く、福祉・介護の分野で働いている若者が中心となって構成された団体です。活動の幅も県内全域です。岩国市、山口市、周南市、宇部市、萩市などから多くの若者が所属しています。

### 構成メンバー

現在 17 名(職種:介護職、介護福祉士、相談員、作業療法士等)

★活動内容（実施日、場所、目的、内容、参加人数等）

- ・福祉イベントなどでのパフォーマンス活動
- ・交流会、研修会の開催
- ・山口県内のボランティア活動
- ・施設へのボランティア活動
- ・福祉、介護分野の研修会・講演会・学習会への参加
- ・YouTube を使った動画配信等

○今年度の活動

実施日:5月7日

場所:山口県田布施町

目的:県内施設の慰問、営業活動

参加人数:3名



実施日:6月7日

場所:Zoom

目的:オンライン交流会

参加人数:10名



実施日:6月11日

場所:山口県周南市

目的:NPO 法人コネクト・ワンによる取材

参加人数:10名



実施日:8月7日

場所:山口県周南市鹿野(11=Jack 拠点)

目的:認知症サポーター養成講座の開催

参加人数:7名



実施日:8月20日

場所:Zoom

目的:介護福祉士会×オンライン交流会

参加人数:3名

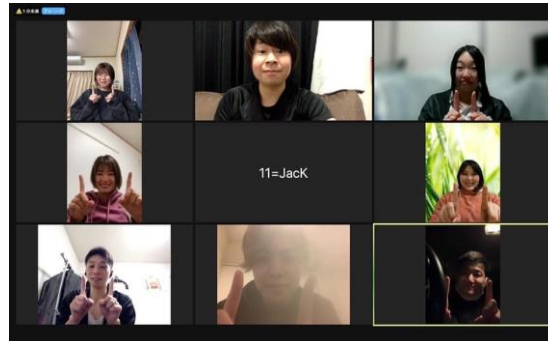
※他団体とのコラボのため、写真の掲載は致しません。

実施日:11月11日

場所:Zoom

目的:オンライン交流会

参加人数:9名



実施日:11月16日

場所:山口県下松市

目的:山口県介護福祉士会主催「介護の日記念イベント」への参加

参加人数:7名



**★実施に伴う効果（どのような社会貢献ができたか。自らの成長は。）**

山口県の介護・福祉に関する運営をしている事業所及び、団体に対して、現場で働く若者が、今の現状で何が現場に求められるのか、どのような課題があるのかの情報提供を行うことができている。又、若者同士の交流を行うことにより、現場での悩み事や不安なこと、相談、こんな良いことがあったなどの情報を共有することにより、若者の介護離れの抑制、若者の介護・福祉分野への参入を促す活動へもつながっている。自らの成長としては、まず第一に、山口県の今の介護現場の現状を知ることができること、どんなケアを職員同士で行えば、あるいは、どんなイベントや講習会・研修会を行ってほしいかの生の声や希望を知るきっかけになることで、活動の幅を広げることができる。若者にとって発言しやすい雰囲気づくりや、コミュニティーの継続の難しさなどを感じながらも、色々な意見をまとめる立場になることで、この活動をするようになってからは年々知識はより深くなり、行動力はより上がっていると感じている。

**★苦勞した点、今後の課題、発展の方向性など**

苦勞した点として、コロナの影響により、思うように対面での活動ができなかったこと。11=JacK に所属するメンバーは全員県内の介護や福祉の現場で働く仕事をしている。高齢者の命を守るため、それぞれの施設での規制が厳しく、一般の職場より、一層コロナにかかりそうな活動を自粛するよう呼びかけられていたため、山口県全域にメンバーがいる11=JacK が、一所に集まって活動をする事自体が難しい時期が長かった。今後の課題としては、規制の緩和と共に、まずはそれぞれの現場で頑張ってくれていたメンバーのケアや悩み・相談事の傾聴活動の再開をすることを第 1 とし、徐々に、今までのようなイベントや活動を再開すること。そして、ジャックハウスの改修も再開し、福祉・介護で働く若者の憩いの場、地域の方々と若者が一緒に過ごせる場所づくりをしていく予定。

**★若者×ツナグバへの提言（改善につながるヒント、要望）**

フェスタ以外にも各団体がつながることができる取り組みや活動があったらもっと交流の幅が広がり、今後も団体同士のつながりを持つことができるのではないかと感じる。